

令和3年11月19日  
三陸国道事務所  
岩手県  
久慈市・野田村・普代村

復興道路《E45 三陸沿岸道路》

三陸沿岸道路（<sup>せんだい</sup>仙台～<sup>はちのへ</sup>八戸）約359km 全線開通！  
三陸沿岸道路「<sup>ふだい</sup>普代～<sup>くじ</sup>久慈」間が  
令和3年12月18日（土）15時00分に開通

国土交通省が整備を進めてまいりました復興道路 三陸沿岸道路のうち<sup>ふだい</sup>普代村第16地割～<sup>くじ</sup>久慈市新井田 間 延長25kmが令和3年12月18日（土）15時00分に開通することとなりましたのでお知らせします。また、下記のとおり開通式典を開催します。

＜今回の開通による主な整備効果＞

- 災害時のリダンダンシーの確保、ネットワーク信頼性の向上
- 地域観光の振興を支援
- 水産加工業の流通を支援

■開通式典

開通式典について、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、一般の方の参加を取りやめ関係者のみで行うこととします。

- 1) 日 時 令和3年12月18日（土）11時00分～
- 2) 場 所 <式典会場> 久慈市民体育館（久慈市新中の橋第4地割13-3）  
<セレモニー会場> 久慈市長内町地内 （別紙1:会場案内図参照）
- 3) 主 催 岩手県・久慈市・野田村・普代村・国土交通省東北地方整備局
- 4) 次 第 挨拶、来賓祝辞、テープカット・くす玉開披、通り初め 等

また、今回の開通に関連してインターチェンジの名称が決定しましたので、併せてお知らせします。

- <sup>ふだいきた</sup>普代北インターチェンジ ←（仮称）<sup>ふだいきた</sup>普代北インターチェンジ  
<sup>のだ</sup>野田インターチェンジ ←（仮称）<sup>のだ</sup>野田インターチェンジ  
<sup>くじうべ</sup>久慈宇部インターチェンジ ←（仮称）<sup>くじうべ</sup>久慈宇部インターチェンジ  
<sup>くじみなみ</sup>久慈南インターチェンジ ←（仮称）<sup>くじみなみ</sup>久慈南インターチェンジ  
※インターチェンジ名称は、地元自治体の意見を反映し決定しています。

※三陸沿岸道路 <sup>のだ</sup>野田IC～<sup>くじ</sup>久慈IC間は、今年3月に発生した切土法面の変状対策について慎重に工事を進め、対策工事が完了し、具体的な開通時期を見通せたことから、隣接する<sup>ふだい</sup>普代村第16地割～<sup>のだ</sup>野田IC間と併せて開通することをお知らせします。

＜記者発表会：岩手県政記者クラブ、久慈報道機関各社、東北専門記者会＞

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 TEL(0193)-62-1711  
副所長（改築担当） <sup>ばば</sup>馬場 <sup>ひろゆき</sup>裕之 （内線204）

# 三陸沿岸道路 普代～久慈

# 位置図



— : 今回開通区間  
— : 開通済み区間  
■ : 津波浸水区域 (2011.3.11)

ふだい くじ  
普代～久慈  
今回開通区間

延長25.0km

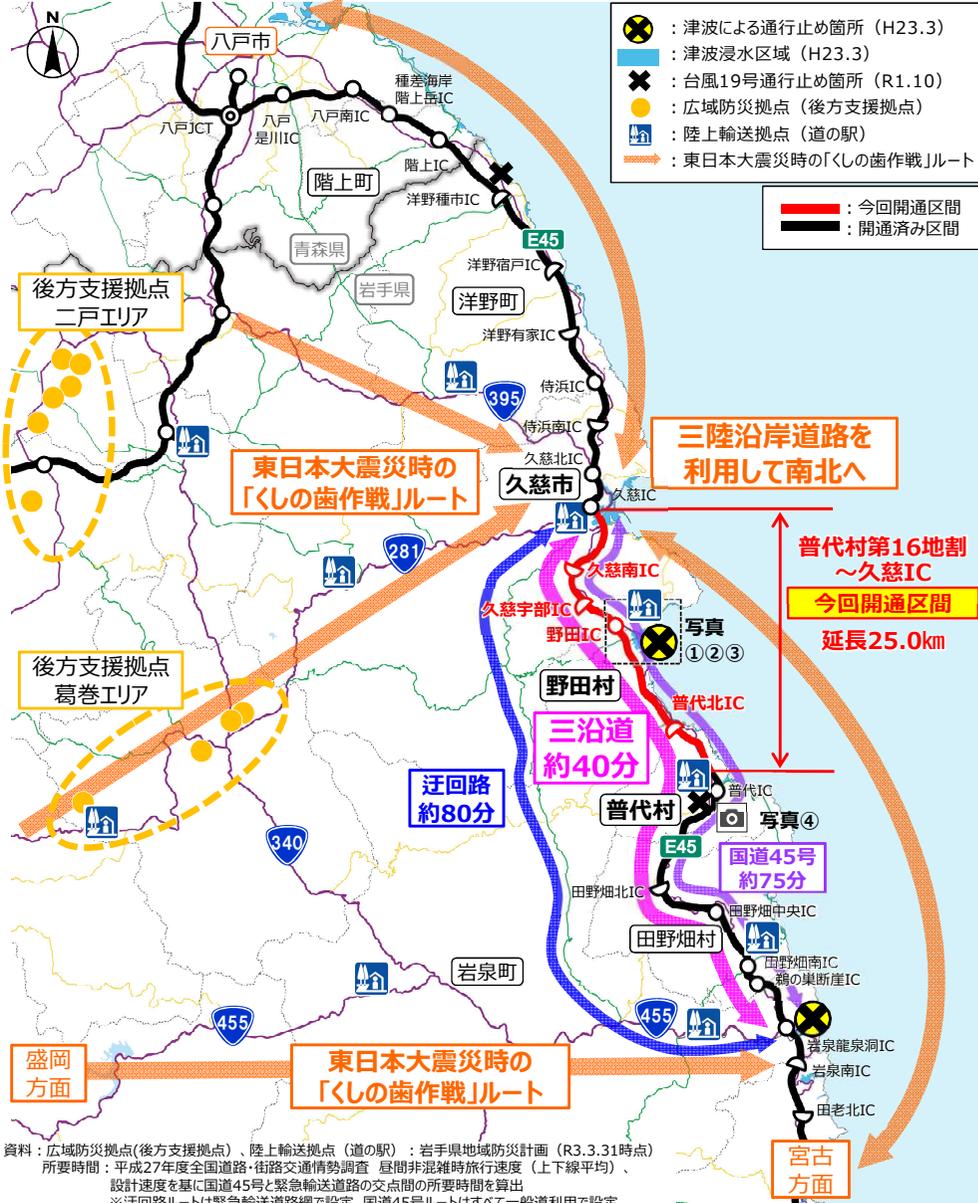
- 開通式典
- 1) 日時：令和3年12月18日（土）11時00分
  - 2) 場所：【式典会場】久慈市民体育館（久慈市新中の橋第4地割13-3）  
【セレモニー会場】久慈市長内町地内（開通区間道路本線上）
  - 3) 主催：岩手県、普代村、野田村、久慈市、国土交通省東北地方整備局
  - 4) 次第：挨拶、来賓祝辞、テープカット、くす玉開披、通り初め等

※今回開通する区間は、無料で通行出来ます。  
※開通区間は自動車専用道路です。歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行出来ません。  
※開通時間直前の路上駐車は、通行の妨げとなりますのでご遠慮願います。  
※お車で越しの報道関係の方は、「別紙1：会場案内図」を参照下さい。  
※報道関係の方は、別添「送信票」による事前申し込みをお願いします。

# 災害時のリダンダンシーの確保、ネットワーク信頼性の向上

- ◆ 沿岸部の幹線道路である国道45号は東日本大震災時の津波浸水や、台風時の冠水等で通行止めが発生し、迂回に時間を要する
- ◆ 三陸沿岸道路は津波浸水区域を回避し、津波発生時に寸断することなく通行可能であり、交通ネットワークの信頼性が向上
- ◆ 大規模災害時には後方支援拠点等から三陸沿岸道路等を経由し、迅速な復旧活動を支援

## ▼大規模災害時における久慈市・野田村・普代村への救援ルートイメージ



## ▼ <写真①> 津波浸水区域を回避した三陸沿岸道路



## ▼令和元年東日本台風(台風19号)発生時の普代村の被災状況

### <写真④> 国道45号(普代村役場口交差点付近)



## ▼東日本大震災時の野田村の被災状況

### <写真②> 国道45号(十府ヶ浦付近)



### <写真③> 国道45号(米田橋)



## 《久慈広域連合消防本部の声》

- ・災害時は、岩手県内の全消防本部と相互応援を行うことになっている。沿岸市町村で大規模災害が発生した場合、これまでの部隊派遣等では、津波浸水区域で足止めされる事があった。
- ・三陸沿岸道路の全線開通により、円滑に被災箇所へ部隊派遣などが可能である。(R3.11 ヒアリング結果)

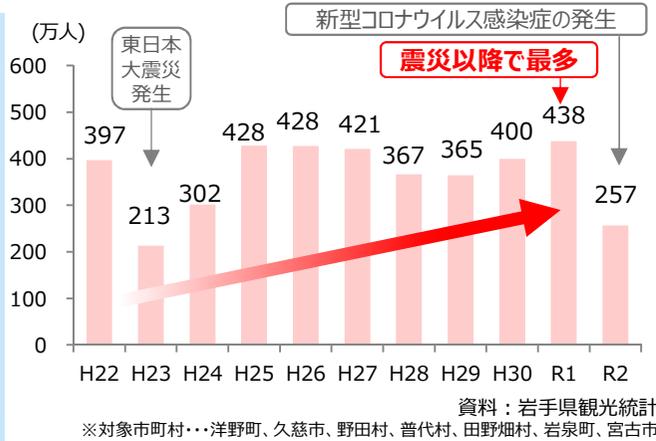
# 地域観光の振興を支援

- ◆ 三陸沿岸北部地域は魅力的な観光資源が数多く存在し、令和元年観光入込客数は震災以降最多となり震災前の水準以上に回復
- ◆ 久慈北IC付近に4市町村が整備する「広域道の駅」が開業予定。普代IC付近では、道の駅「青の国ふだい」が令和3年に開業
- ◆ 野田村では三陸沿岸道路の開通を見越して地場産品の山ぶどうワイナリーを開業し、イベント等による観光施策を展開

## ▼三陸沿岸北部地域※の主な観光地および道の駅



## ▼三陸沿岸北部地域※の観光入込客数の推移



### 普代村

道の駅「青の国ふだい」(R3.9.25開業)  
 ・普代村の特産品を活用した商品開発と観光誘客の取り組み



### 《関係者の声》

- ・道の駅や観光地等との移動時間が短縮されることで、スタンプラリー等の沿岸周遊観光向けのイベントが企画しやすくなり、岩手県沿岸地域一体となった観光振興に繋がることを期待している。  
 (R3.1 久慈市役所 ヒアリング結果)
- ・道の駅「青の国ふだい」は村の情報発信の拠点となる。全国各地に魅力を発信したい。  
 (R3.9 道の駅「青の国ふだい」ヒアリング結果)
- ・全線開通により周遊性の向上が図られ、休憩や製造見学などの立ち寄り増加、イベント実施による交流人口の拡大に期待している。  
 (R3.9 ワイナリー-管理者 ヒアリング結果)

### 久慈市

#### 「広域道の駅」(R5開業予定)

・三陸沿岸道路の整備による交流人口拡大を見越して、久慈北IC周辺に開業予定



### 野田村

#### 涼海の丘ワイナリー (H28.10.9醸造開始)

<イベント事例> R3.10.24、野田村産の山ぶどうワインを中心に、北三陸の海の幸、山の幸をたっぷり楽しめるお祭りを開催



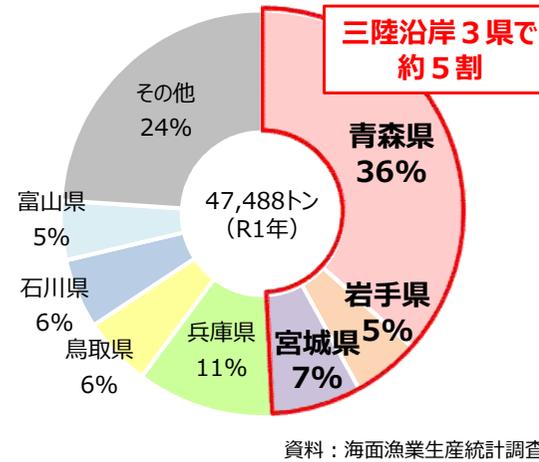
# 水産加工業の流通を支援

- ◆ 三陸沿岸道路沿線の青森・岩手・宮城の3県でいか類漁獲量は本州の約5割を占める等、三陸沿岸地域は水産業が盛んな地域
- ◆ 宮古市の水産加工会社では、三陸沿岸道路開通で県境を越えた広域的な仕入れが可能となり、安定的な流通を実現
- ◆ 三陸沿岸道路の全線開通により、県境を越えた連携が生まれ、製造品出荷額も東日本大震災前を上回る水準にまで回復

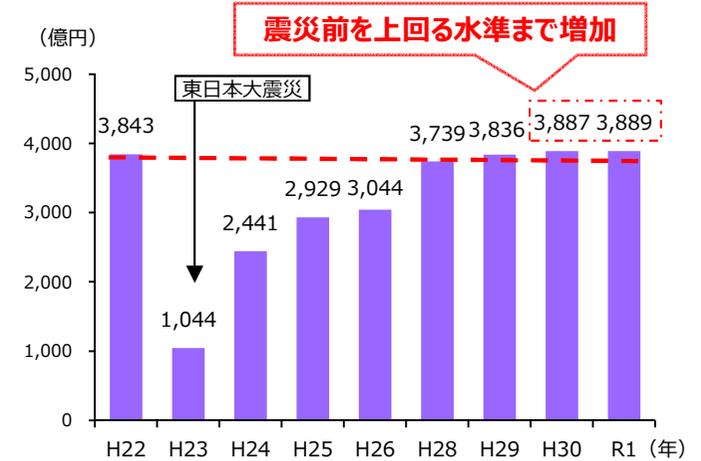
▼宮古市の水産加工会社に係るいかの輸送ルート



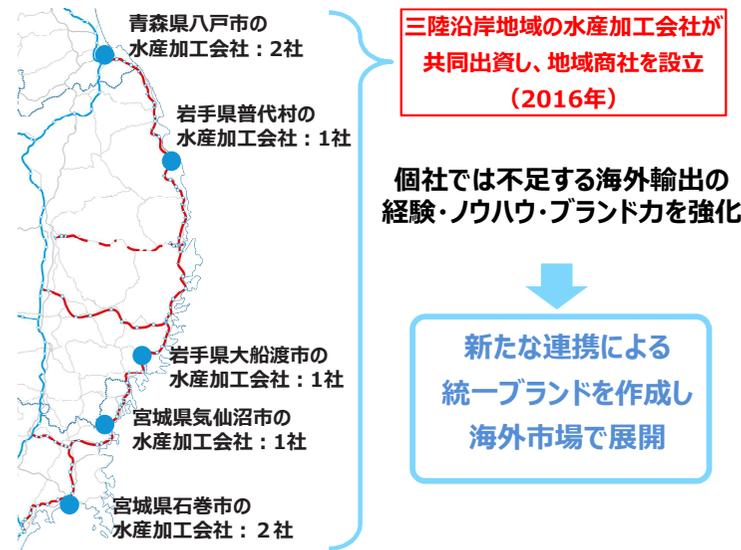
▼いか類漁獲量の都府県別割合 (本州)



▼三陸沿岸3県※の水産加工業における製造品出荷額等の推移



▼県境を越えた三陸沿岸地域の連携事例



## 《水産加工会社の声》

- ・三陸沿岸道路の開通により、積極的に宮城県や青森県からも仕入れ可能となった。
- ・以前は、宮古市から釜石市の保管庫まで1日2往復であったが、今では3～4往復できるようになり、生産量も増加している。

(R3.9 ヒアリング結果)

# 主要都市間の所要時間を大幅短縮

＜東日本大震災前（2011.3）＞

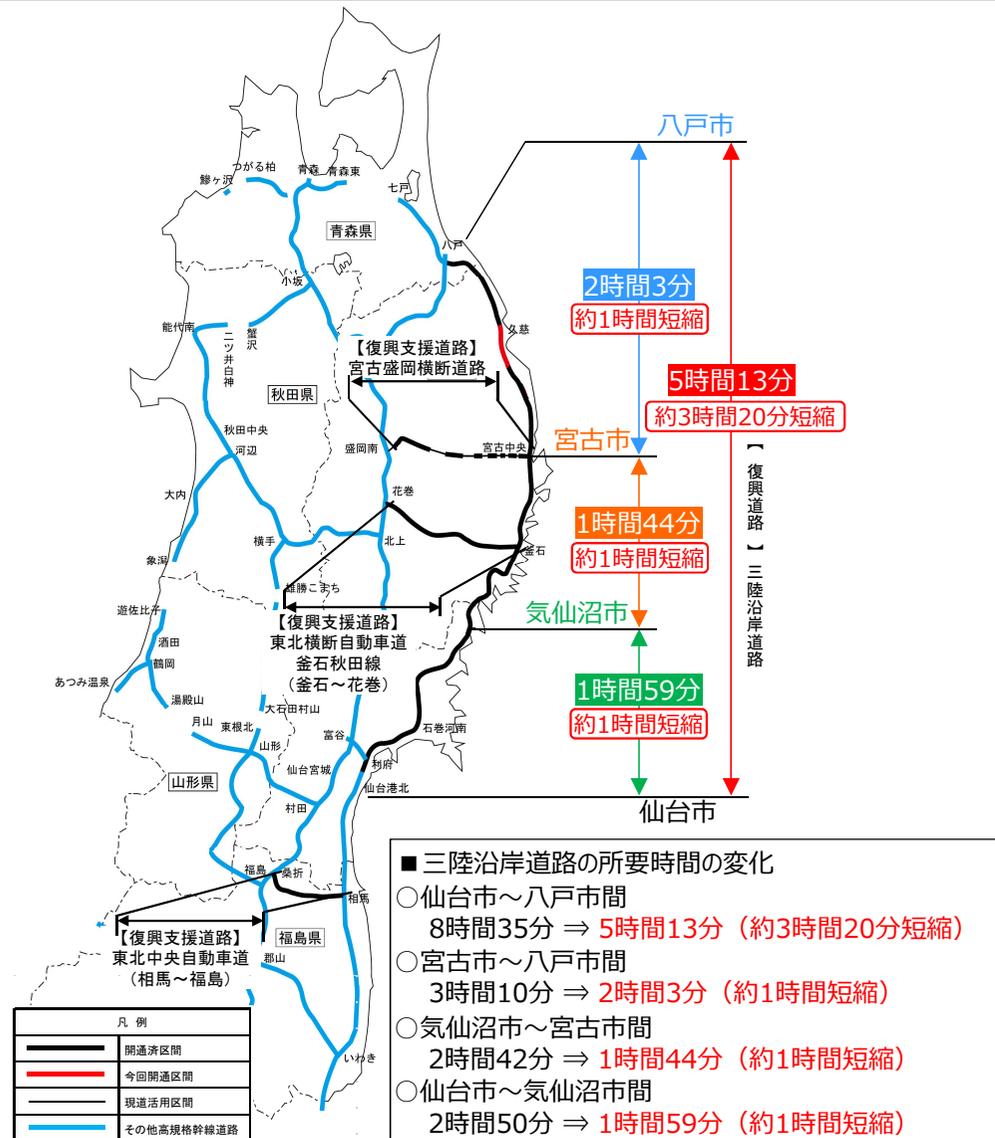
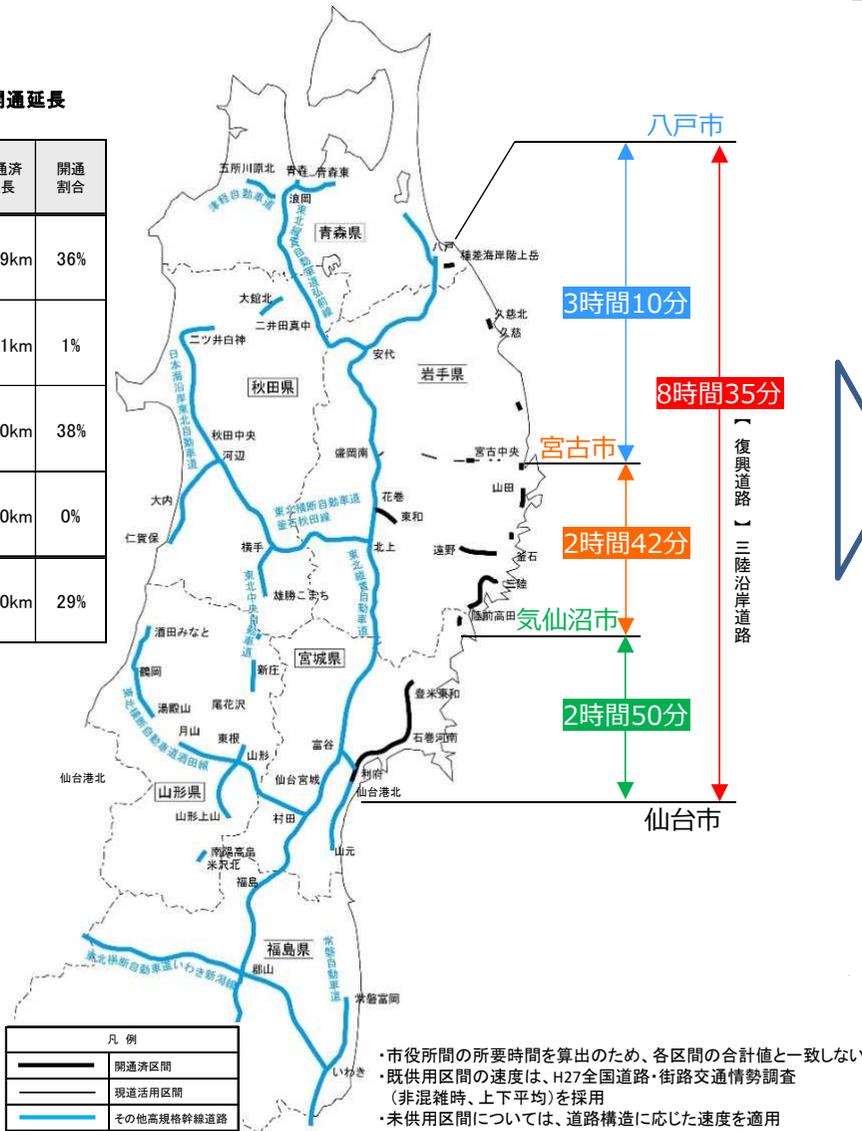
- 対象路線のうち、160km・約3割が開通済み。
- 高規格道路がほとんどつながっておらず、主要都市間の移動は現道を利用。
- 仙台～八戸間の所要時間は8時間35分。

＜全線開通後（2021.12）＞

- 今回の開通により、三陸沿岸道路 約359kmの高速道路ネットワークが完成。
- （復興道路・復興支援道路として約550kmの高速道路ネットワークが完成。）
- 主要都市間が高規格道路で結ばれ、所要時間が大幅に短縮。

■復興道路・復興支援道路の開通延長  
＜東日本大震災前(2011.3)＞

路線名	計画延長	開通済延長	開通割合
三陸沿岸道路	359km	129km	36%
宮古盛岡横断道路	66km	1km	1%
東北横断自動車道 釜石秋田線 (釜石～花巻)	80km	30km	38%
東北中央自動車道 (相馬～福島)	45km	0km	0%
計	550km	160km	29%





( 別 添 )

F A X 送 信 票

【報道関係者の入場について】

台数把握のため、下記にご記入のうえ、12月8日(水)までに本状をFAXで提出願います。

別途駐車券をお送りいたします。

三陸国道事務所 総務課 行き

FAX 0193-71-1734

○駐車台数 台

住所 〒

会社名

部署名

取材者氏名

電話番号

※こちらから連絡させていただく場合があります。連絡がとれる電話番号を記入ください。

※開式前に式典内容等の説明をさせていただきますので、10時20分までに式典会場にお集まり頂きますようお願いいたします。